

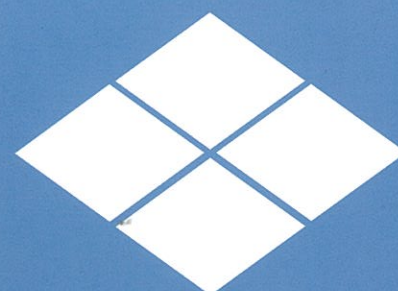
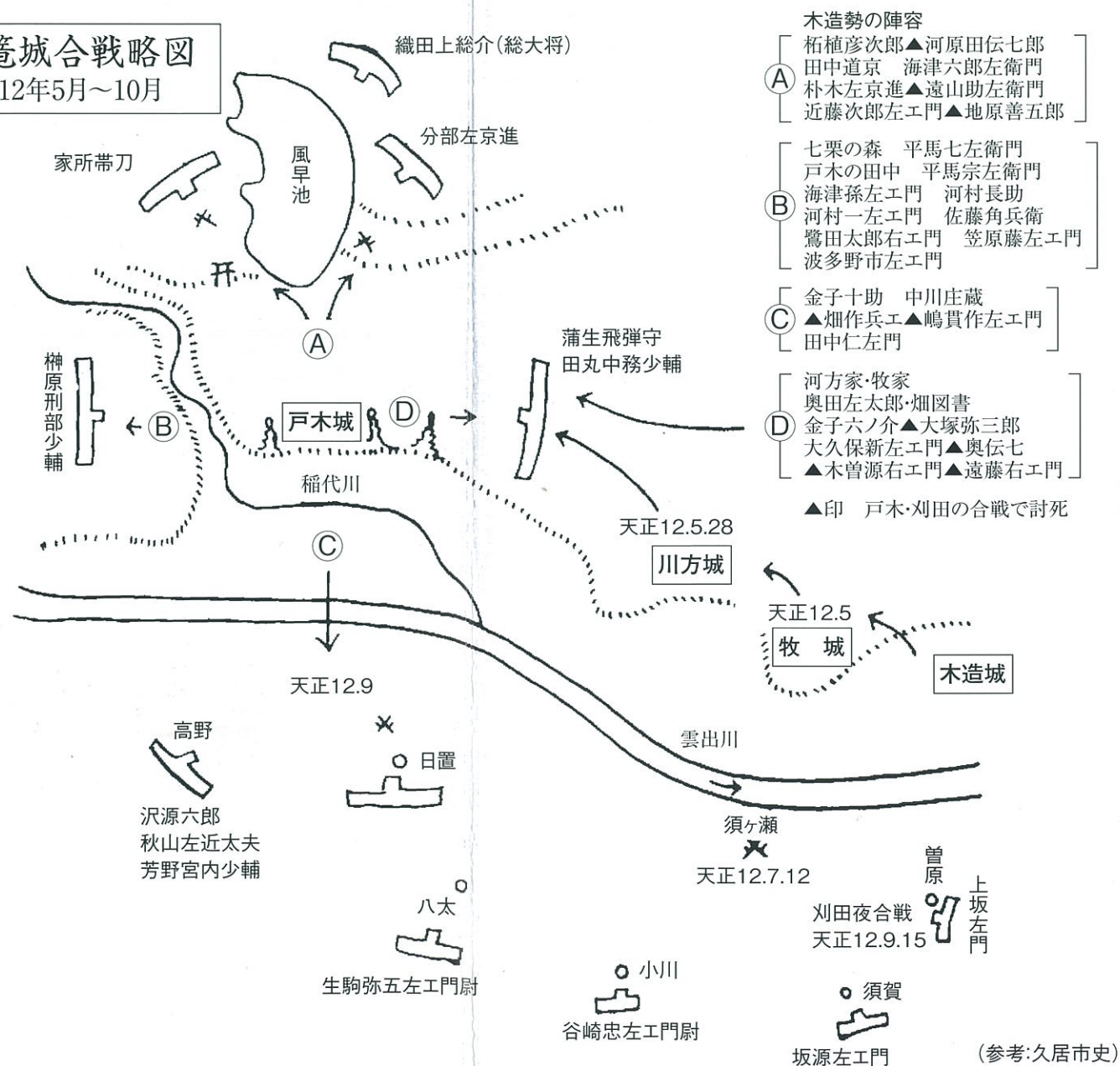
本造氏の戸本竈城合戦

織田信長の伊勢侵攻が、滝川一益を先陣に北勢地方からはじまり、1569年（永禄12）には木造具政・長政親子へ南伊勢侵入の案内役の申し入れがあった。木造氏の内部には抵抗があったが、信長の威風に屈して木造城に入った織田軍と共に北畠氏に属する松阪大河内城を攻めるが、難攻不落がつづき、和議が成立。信長の次男信雄が北畠氏の養子となり、木造氏も信雄に属することとなる。その後、1582年（天正10）の本能寺の変で織田信長が自刃すると伊勢地方の勢力図も一変する。

豊臣秀吉の勢が増すにつれて、信雄の木造領も徐々になくなり、これに替わって秀吉配下の蒲生氏郷が松ヶ島城の城主として領地を広げつつあった頃、1584年（天正12）氏郷が長野氏系の城主を配下に木造氏最後の砦である戸木城（戸木の御所）を東西南北の四方から攻めてきた。

木造具政・長政は籠城し、長期戦化してきたが、ついに一身田専修寺の門跡堯慧大僧正が間に入り和睦した。1586年（天正14）信雄は秀吉により配流、木造長政は員弁、岐阜と移り、200有余年も続いた木造氏は雲出川から消え去った。

戸木竈城合戦略図 天正12年5月～10月



木造氏家紋「割菱」

本造氏終焉の地 久居戸本めぐり

久居地域の名所・旧跡のガイドや紙芝居を聞いてみませんか！

学校行事や地域行事など団体から個人までどなたでもガイドの依頼をお引き受けします。お気軽にご相談ください。

- 紙芝居のタイトル（平成26年3月現在）
- 藤堂高通と久居藩
 - 寛政の農民一揆
 - 西嶋八兵衛と雲出井
 - 国友の飛行機
 - 久居焼けと立て直し
 - はちこう
 - 小戸木物語
 - 須ヶ瀬町郷土史
 - 農学博士上野英三郎の水田づくり



奈良街道

かつては「伊賀越えならみち」と言われ、お伊勢参りの旅人で賑わい伊勢街道の月本で合流する。今も所々の軒並に往時を忍ぶことができる。



(左:ならみち) (右:新道)

風早池

垂仁天皇(第11代天皇)が全国に造らせた八百の池の一つとして伝わっている。大昔は堤防が大雨で壊れたため人柱伝説もあるが現在では県下でも有数の灌漑用水池になっている。



久居陣屋跡

1669年(寛文9)津藩主藤堂高虎の孫高通が分家として五万石が分封され、野辺の巽岡に陣屋を築き、東方に久居の城下町が出来た。



味噌傳 (辻岡醸造)

1765年(明和2)創業。歴史を刻んだ蔵から、日本伝統の調味料、味噌、醤油の醸造が受け継がれている奈良街道沿いの店である。



近鉄の時刻表はこちらから
近畿日本鉄道携帯公式サイト

※QRコード読み取り機能付き携帯でのみ御利用いただけます。



発行 久居城下案内人の会

問合せ先 津市久居総合支所 地域振興課内
住所 〒514-1192 津市久居東鷹跡町 246
電話 059-255-8846 FAX 059-255-0960
平成26年3月発行

① 敏太神社(としたじんじや)

- ・かんこ踊り 地を掃く如く 頭ふり
- ・長参道 山幸彦祀る 風早の杜



② 宮山城跡(みやまじょうせき)

- ・戸木城の 北を守りて 滅びたり
- ・兵どもの 戦火の土塁 そのまに



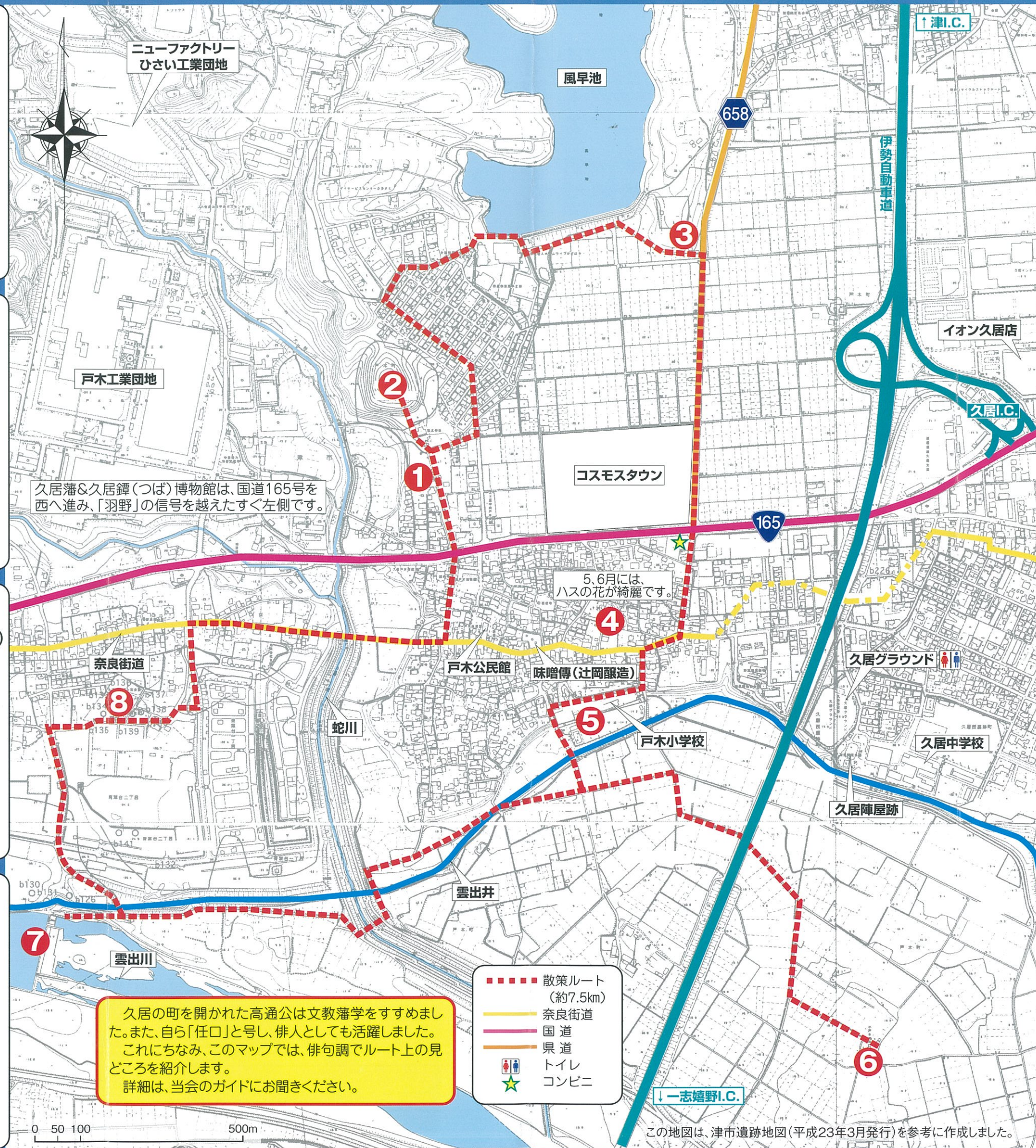
③ 風早池(かざはやいけ) 城山城跡(しろやまじょうせき)

- ・伝説の 笠をかぶった 鯉がいる
- ・風早の 森に隠れた 城山城



④ 蓮蔵寺(れんぞうじ)

- ・境内の 大山蓮華 花明り
- ・古長押 戦の秘密 見つけたり



⑤ 戸木城跡(へきじょうせき)

- ・泡沫の 栄華の跡の 戸木城跡
- ・ああ戸木城 木造終焉 四面楚歌



⑥ 小戸木神社(こへきじんじや)

- ・そと建つ 上野博士の 篆刻碑
- ・いくたびの 移転の歴史 記す石碑



⑦ 雲出井取水口(くもずゆしゅすいこう)

- ・雲出井の 13キロの 出発点
- ・雲出井の 14ヶ村に 水運び



⑧ 上野古墳群(うえのこふんぐん)

- ・青葉風 7基の古墳を 包みわり
- ・草茂る 古代の生活知る 古墳群

